神の手

14

中山敦支

★この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

NEJIMAKI
KAGYU
ねじまき
カギュー
VOL.
14
ATSUSHI NAKAYAMA

人物紹介

「生徒のためなら死ねる」
そう公言するほど
“生徒愛”が深い
新米高校教師・葱沢鴨。
「先生になったカモにーちゃんまもろ!!」

幼い頃にそう誓った
螺旋巻拳法美少女・狗生十兵衛。
カギューは、一途に真っ直ぐに、
走るを突っ走る!
そんな二人の“愛”の深さに
着目したのは……
巨大怪物学園の理事長。
なんと彼は、生来れつき感情を持たぬ
悪魔的頭脳の持ち主だった。
理事長の目的は“愛”という
感情を理解すること。

登場人物

彼にとって学園は感情実験場。
生徒は感情実験体。
その本性を知ったカモは嫉妬し
「愛を教えて殺る」と宣言。
理事長のルーツを知り
理解する為に旅に出る。
そこで明かされた
カモの黒師・風蘭先生が
理事長の妻という衝撃の事実…。
そして、幽閉されているという
島へ救出に向う。
その先で、カモとカギューを
待っていたものとは!?

二千恵理事長（ニチエリジチョウ）

先生ノ先生 風蘭（フウラン）

ヲタ少女 ガガリ

感情怪物 マルマン

先生 森（モリ）

第百二十九話 曇天の光芒 5
第百三十話 招待 25
第百三十一話 異物 43
第百三十二話 眩しすぎる世界 61
第百三十三話 シンプル 80
第百三十四話 再会 99
第百三十五話 脱出 117
第百三十六話 哀しみのマルマン 135
第百三十七話 人間・神・悪魔 153
第百三十八話 最高傑作 171

NEJIMAKI KAGYU ねじまきカギュー VOL.14

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

第百二十九話 曇天の光芒

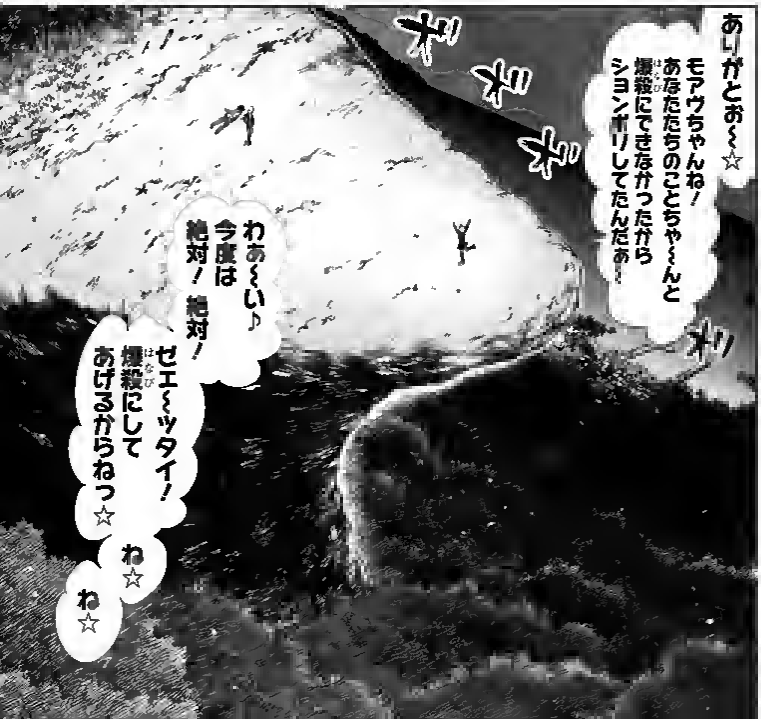
NEJIMAKI KAGYU

ねじまきカギュー

VOL.14

ATSUSHI NAKAYAMA

わぁ
生きててくれたんだぁ～♪♪♪
ヤった


ありがとぉ～☆
モアヴちゃんね！
あなたたちのことちゃ～んと
爆殺にできなかったから
ションボリしてたんだぁ～
ボリ
ボリ
ボリ
ボリ
わぁ～い♪
今度は
絶対！絶対！
ゼエ～ッタイ！
爆殺にして
あげるからねっ☆
ね☆
ね☆

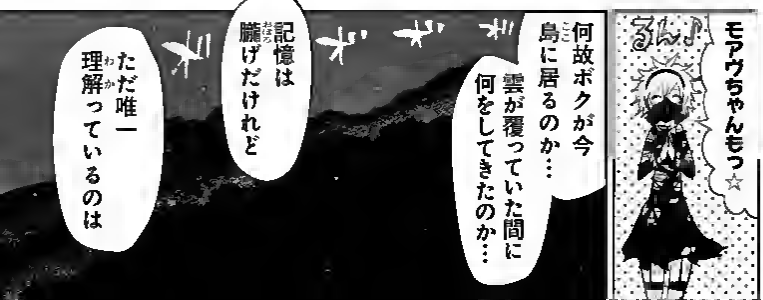
やれやれ
リミッター解除
人一人担いで
ここまで
登ってくるのは
さすがに
骨が折れたね
これやると
反動キツイんだもの
とてもね

あれぇ？
なんだか
さっきまでと
フンイキ
違〜う？
高いの
やだ！
ヤダァ!!
不思議い〜♪

たしかに
ね
どうして
だろう

なんというか…
そう
たとえば
ボクの頭を長い間
覆っていた
分厚い暗雲が割れ
暖かい陽だまりが
あらわれたような

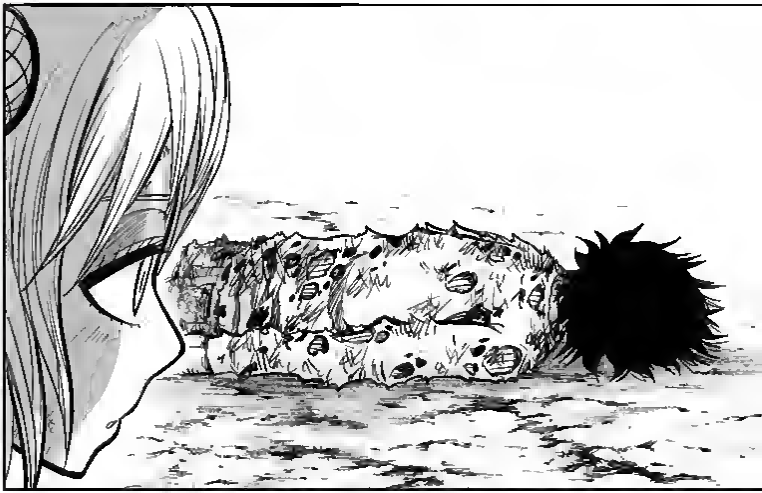
晴れ晴れしい
そんな気分だよ


モアウちゃんもっ☆
何故ボクが今
島に居るのか…
雲が覆っていた間に
何をしてきたのか…
記憶は
朧げだけれど
ただ唯一
理解っているのは

パパを
護らなくちゃと
いうことだ
…パパ？
あ
パパ～
パパ…
え？
今ボク
なんて…？
え…
なんで？
葱沢先生が…
パパ想いなんだねぇ～♪
チバ
チバ

ガシ
ゴッ
ボッ
！

いやいやちがうっ
断じてない！
そんな
恥知らずなこと
ボクがやるわけ…ッ!!
フル
フル
フル
フル
フル
フル
フル
フル
フル
フル
フル
フル
だ 誰だ！
ボクの記憶を
書き換えたのは！
除籍だっ!!
うんうん
親子愛だねぇ～♪
素敵素敵い～♪



素敵いくよ♪

それじゃあ
親子仲良く
爆殺にして
あげるね
きっとも一っと
素敵になるから一♪
ヘぇ
面白いこと
言うね
キミ
じゃあ
ボクもお返しに
一つ
あーあーあー
うんうん

ここから一歩も動かずに
キミを撃破してあげる
っていうのはどう？

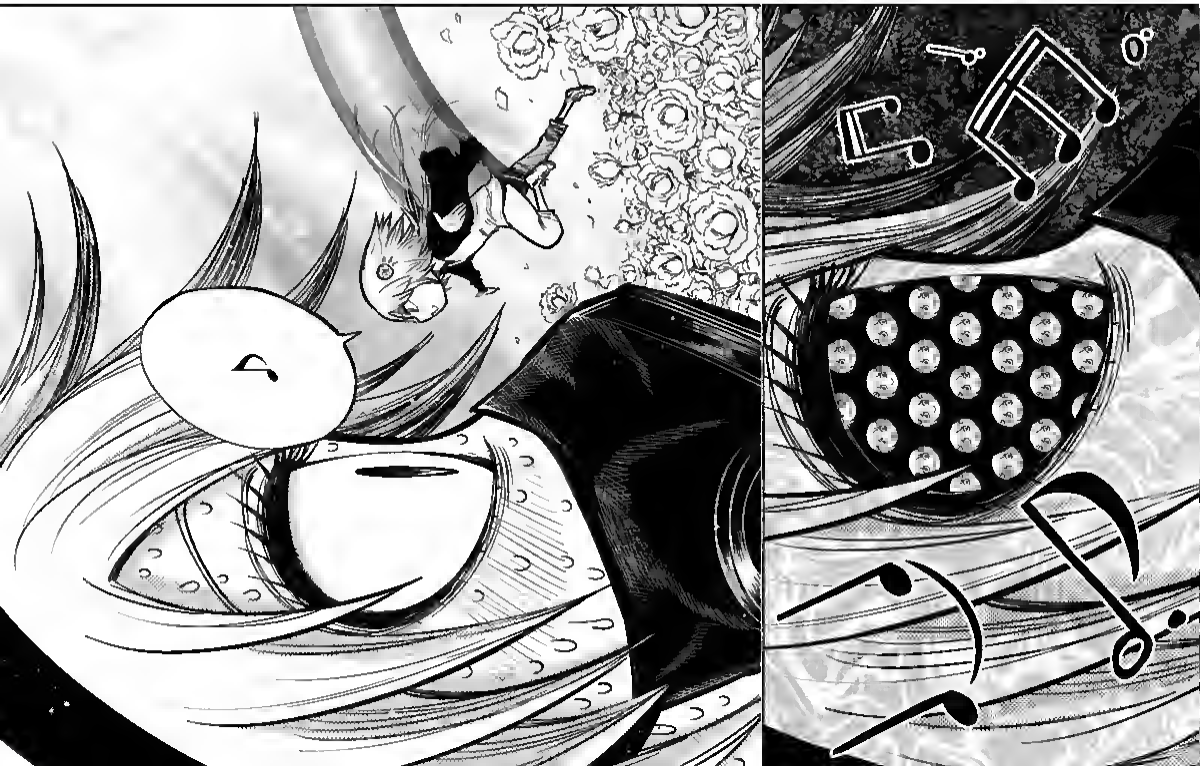
うん☆
動かなくて
いいよ～
ピ
ピ
ピ

紅蓮の死に装束
だってもう動く必要ないもん♪

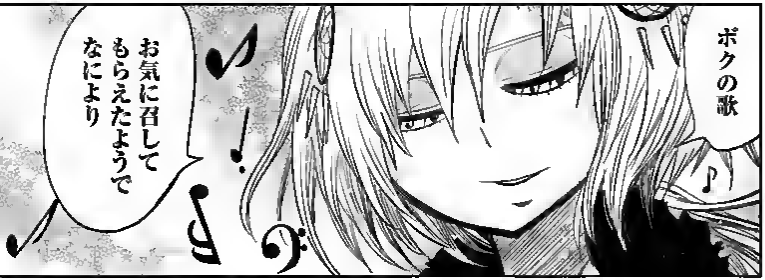
ハハハ
ハハハ
ハハハ
ハハハ
!
ドドド

えっ!?
ネ〜〜〜〜っ
不思議い〜!!
ピッ
何それネ〜〜〜〜〜〜!!!
ガリガリ
ガリ
ガリ
ひゃんっ

爆殺しても爆殺しても
どんどん中から出てくるよぉ～!!
ボゼッ
ボゼッ
マトリョーシカみたあい♪
ボゼッ
ボゼッ
ボゼッ



ねぇ
どこどこぉ〜??
お花畑
お花畑〜
これ以上
小さくなったら
捕まえられないよぉ〜っ☆


ボクの歌
♪
お気に召して
もらえたようで
なによりー

ここは
極楽なのぉ〜♪
ポロッ
ガチャ
ピピピ

大好きな花火になった気分はどう？

第百三十話 招待

あはははは っ☆
あはははは っ☆
もうモアヴちゃん無理ぃっ
もう爆殺(ばくさつ)しきれないよぉぉ
ドカーン
ハッピィ〜〜〜♪
ハッ…
パァァン
……ッ
え…
衿沙(えりさ)ちゃん……？
ボ
ボ
ボ
！

……
戻った…
の…？
……ん
まあ…ね
フラ
ッ

衿沙ちゃん!?
大丈夫!?
ガ
ニ
……
ハッ
…葱沢先生
ハッ

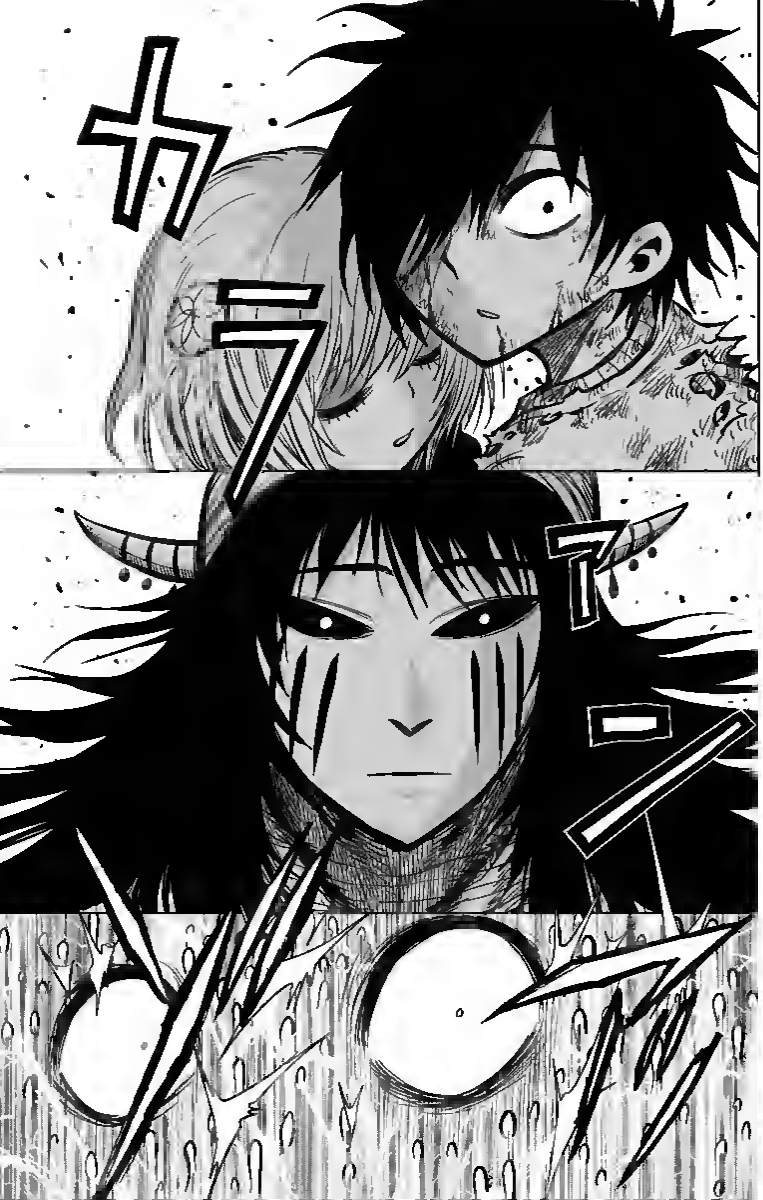
これからも
迷惑かけるかも
しれないけど
礼沙を
よろしくね
ドドド

ん…
あれ…？
パパぁ…？

パパ
だっこ
……
認知症の人が
一時的に以前の記憶を
取り戻すことがある
以前の玲沙ちゃん…
つまりこれは
回復の余地…

この子は
完全に死んだ
わけじゃないんだ!!!
くっ
蘇る
すや…
すや…
その日は
きっとやってくる

そんな予感がする――


カラ
ア
ア

誰!?
いや…
まさか……
モアヴって娘と同じ、
千恵が雇った連中!!
もう一人いた!?
ヤバイ!!
衿沙ちゃんも
無力化してしまった!!
リミッター解除も
できない!!
駄目だ…ッ
殺…

お前が葱沢鴨(ねぎさわかも)だな
安心しろ
危害を加える気は一切ない
その二千恵の令嬢も同様だ

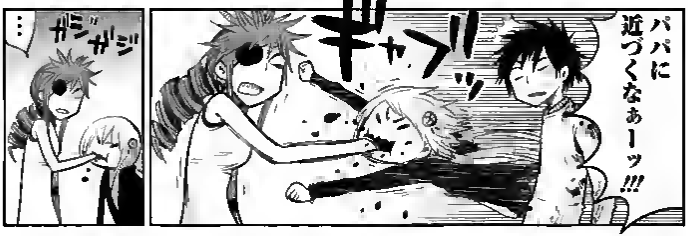
お前たちを屋敷に招待したい
先にカギューが待っている

カギューちゃんが…!?
風間(かざま)先生がいる屋敷に…!?
断れば然るべき手段をとらせてもらうが
断る理由もない筈だ

ドォォ
ン
お？

うっ!!!
彼女は…
おおっ
おんしらは！
にゃっはっはっは
あの3バカを
抜いてよう
生きちょうのう!!
傑作じゃ！
で!?
誰と遊んだんじゃ!?
んん!?

ほっほーう
こん臭いは
火薬！
モアヴも
だっらしにゃあなあ!!
なぁ!?
にゃっはっはっ!!!

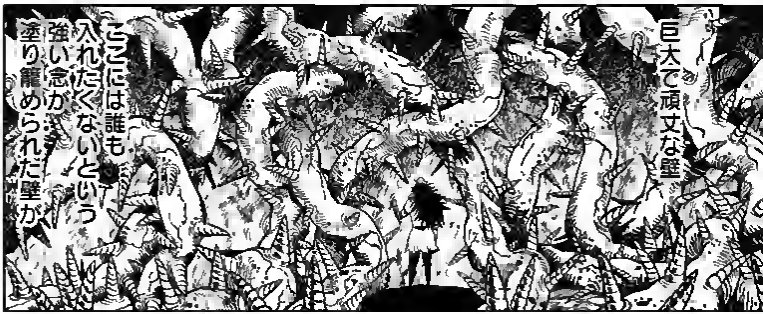

パパに
近づくなぁーッ!!!
ギャブ!!
…
ガシ
ガシ

しーん…
こっちだ
こい

!?
カギューちゃんっ!!!

昏睡している
とても
危険な状態だ
どうして
こんな状態に…!!?
私がやった
そう怖い顔
すんにゃあ
危ない遊びほど
楽しいきに
さて
本題に入ろう
私は先刻まで
カギューの心の中に
入っていた
……
え…?

心の…中…？
まあ聞け
信じられぬのも
無理はないが
マルマンはそういう
不思議なことができる
楽しいヤツなんぜよ
とにかく私は
入っていった
とある深い層まで
降りたとき
そこには壁があった


巨大で頑丈な壁
ここには誰も
入れたくないという
強い念が
塗り籠められた壁が

そしてそこに
あるものを見つけたのだ
ぜんぜいになった
ぜんぜいちゃんをもう一九ぜー
ぜんぜいになる！！ぜ

愚僧の力ならお前の精神をカギューの中に送ることができる

……ッ

あの堅い壁が破られない限りカギューはこちら側に戻ってこない

カギューにこのまま死なれては困るそう二千恵に言われているからな

お前の尋ね人小島風蘭は屋敷にいる事がうまくいけば

無事風蘭に会えるよう取り計
言われなくてもそうするつもりだ
それでどうすればいい？
早くやってくれ時間が惜しい
……お前の目的は風蘭に会うことじゃないのか？
そうだ

そして
みんなで帰る

カギューちゃんは
僕が必ず助け出す

ハア
ハア
ハア
キキ
リィ…

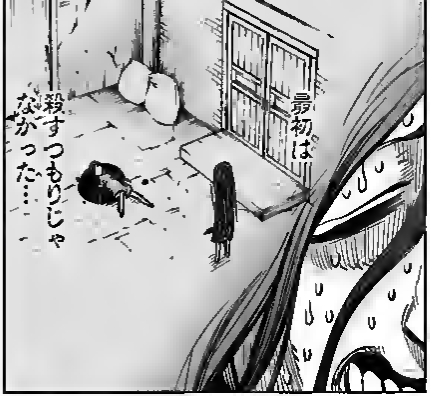
妬ましい…

第百三十一話 異物

二千恵セキュリティグループ
怨みのウルカイシ

第百三十一話 異物

ヒュッ
お前も髪に加えてやる…!!!


最初は
殺すつもりじゃ
なかった…

生まれながらに
勝ち組のあの女…
勇気持ちならない
あの女が…
私を
吐瀉物を見るような
眼で見るから…

達成感

だが意外にも
私の中に生まれたのは
罪悪感や後悔じゃなかった…

私はすぐにその建築家の虜になった…
美しい女を犯んで犯んで
犯みまくった…
誰を何人犯もうがなんの解決にもならない……
そんなことはわかっている…
だが…
美しい女を犯むことこそ我が人生…
犯みだけが私を満たす…
犯みだけが私を強靭くする…

お前を殺めば殺むほど
お前が美しければ美しいほど
私は強欲くなる

ドドド

何避けてんだ
テメエゴルァアー!!!!
誰が勝手に避けていいっつったァァ!!?
あぁッ!?
死ねよッ!!!
ボケェッ!!!
う…
美しい女…

美しい女がもう一人いいいいいい…!!!!
メギ
メギ
メギ
怒と怨の挟撃!!!!

天

逝けるッッ!!!
とか思った？

ドドドド
ドドドド
ドドドド

うォッ!!!?
なんじゃあ!!!?
ガッ…!!!
?

なんだ?
何が紛れ込んだ?

ん…？
も森先…
あら お目覚め？

あれ…？ て 敵は…？
んん？ なんのこと？
さっきまで 殺し屋が…!?

誰もいなかったわよ？

そ そッスか…？
マジか…？
まーまー 道中気をつけましょ 夜の山は危ないから

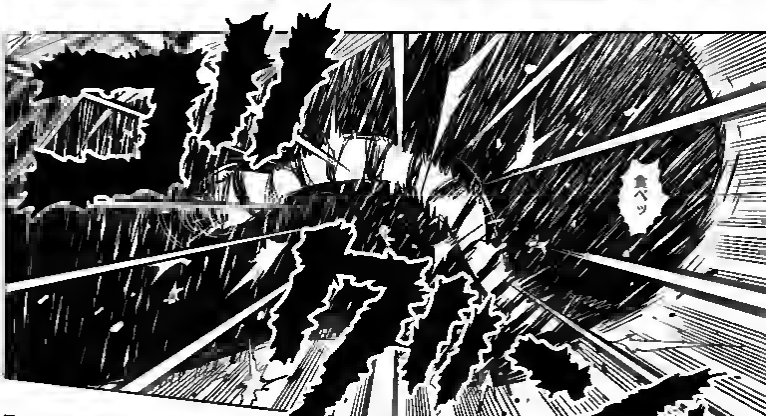
さ
御屋敷へ向かいましょ

第百三十二話 眩しすぎる世界

なんだこれッッ……!!!?

第百二十二話 眩しすぎる世界

わー
わー
わー
ワラ
ワラ

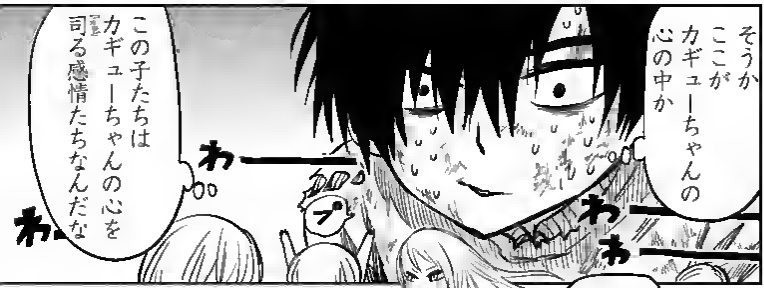

食べッ

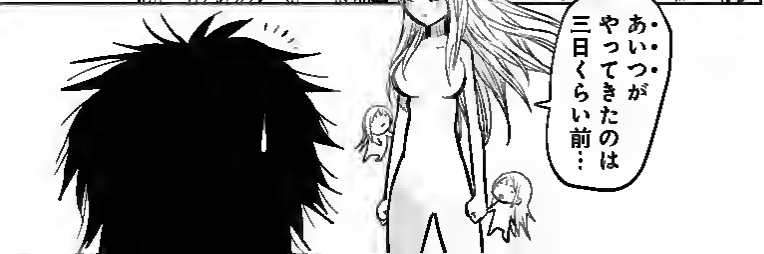
カモ先生！
ここにいると
あいつに
食べられるぞ！
こっち！
！
なっ
なっ
なっ
なッッ!?

走って!!

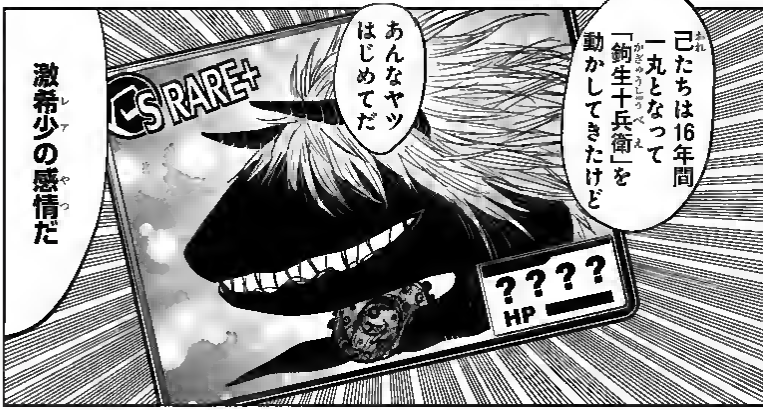
先生
大丈夫…？
な
なんとか…
何人生き残ったんだ？
30人くらい…
大分減ったなー
半分以下だ

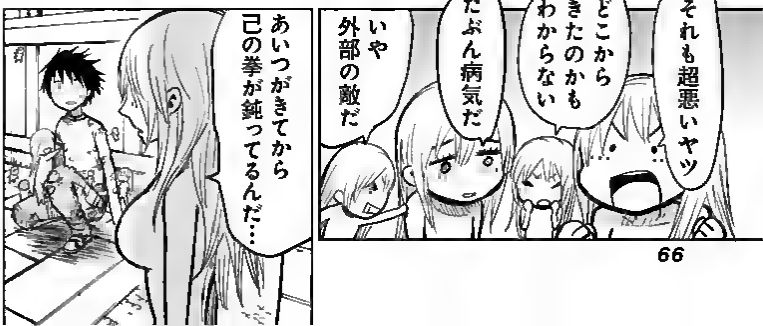
もう
あんなヤツを野放しにしておけないぞ！
さすが正義
頼りになるなー
カモ先生
きてくれて
心強しい♡
おい性欲
勝手な行動するな！
今それところじゃない！
堅いぞ
理性
それより
ご飯食べよう！
話聞いてたのか…？
食欲


そうか
ここが
カギューちゃんの
心の中か
この子たちは
カギューちゃんの心を
司る感情たちなんだな


あいつが
やってきたのは
三日くらい前…

ワオオオオ
見たこともない
ヤツだった
明らかに
異質な感情
醜くて
横暴で
恐ろしくて
強靭い


己たちは16年間
一丸となって
「鉤生十兵衛」を
動かしてきたけど
あんな
ヤツ
はじめてだ
SRARE+
????
HP
激希少の感情だ


それも超悪いヤツ
どこから
きたのかも
わからない
たぶん病気だ
いや
外部の敵だ
あいつがきてから
己の拳が鈍ってるんだ…

これじゃ先生護れない…
高騰してる
この子は一人で戦っていたのか
何と?
今は総動員してあいつを食い止めてるけど
仲間はどんどんあいつに喰われていってる
このままじゃ全滅だ
あいつは表面に出てしまう
そうなったら己の身体はのっとられる…

どうやって
あいつを食い止めれば
いいのか
わからなッ
ウッ
!
うわッ!!!
戦争ッ!!!
キャー!!
見つかった!!

うっ…
くそう…
ガクッ
カモ先生！
逃げて！
ここは
己たちが…!!
カモ先生も
食べられたら…!!
カモ先生!!!
やめろォーッ!!!
なぜ
こんなことをする!!?
君は一体
何感情なんだァァ――ッ!!!

オレもわからない
ザワ…
話ができるのか!?

喰いたくて喰ってるんじゃない…
君はカギューちゃんたちを食べるんだ?
なら なんで…

はじめに
攻撃してきたのは
こいつらのほうだ
オレは生まれて
こないほうが
よかったのか？

なんでこんなに嫌われなきゃいけない？
皆が幸せそうに見えるんだ
世界でオレ一人だけなんでこんな苦しい思いしなきゃいけないんだ

この世界は眩しすぎる
オレには辛い
オレは仲間じゃなかったのか？

憎いんだ…
カモ先生も…
カモ先生の中にいる
風蘭って人も…
世界中の笑っている皆も……
……それを憎むオレ自身も…
見ないで先生…

こんな醜い姿なんて
誰にも見られたくなかったのに…
誰も
憎みたく
なかったのに…
嫌われたくないのに…
先生に
嫌われたくない…
なんなんだ
オレは…
なんで
オレは
生まれたんだ?
たすけて…
見ないで
先生…

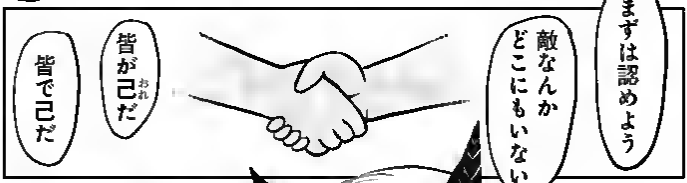
…そうか

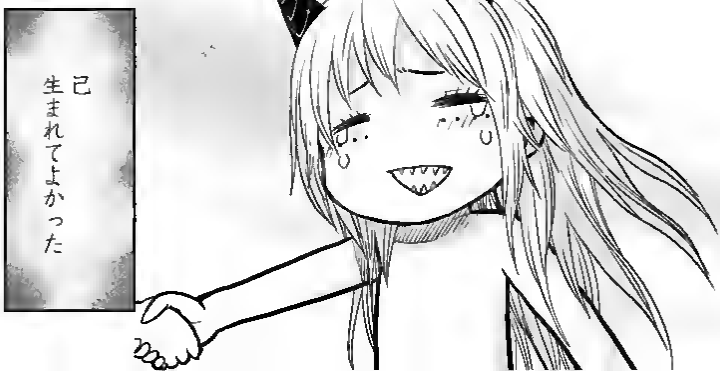
嫌いになんかならないよ
ここにいていいんだ
君は生まれてよかったんだ
ねえ「嫉妬」
だって君こそが強い愛の証明だから
逃えばいい苦しめばいいそのままでありのままでいい
天真爛漫な今までの君も好きだけど

君がいる
今のほうが
僕はもっと好きだよ

おーッ!!
今まで食べられたヤツが…
皆いるぞ!!

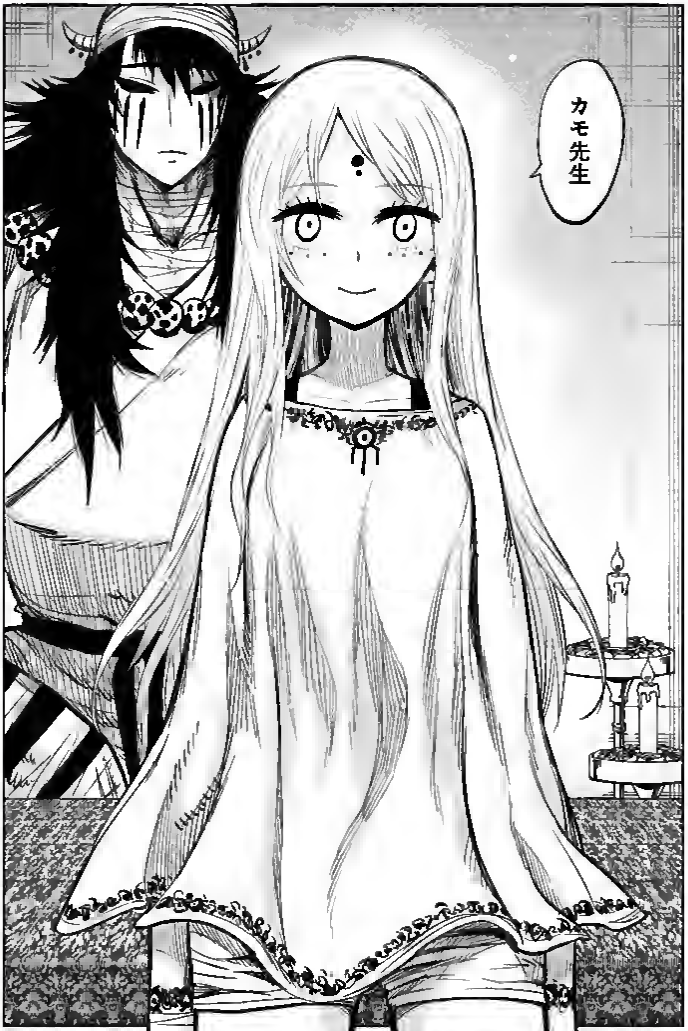
仲直りだ
すぐに仲良くなんてできないかもだけど…
うん時間かかってもいいんだよね?


まずは認めよう
敵なんかどこにもいない
皆が己(おれ)だ
皆で己だ


己
生まれてよかった

NEJIMAKI KAGYU
ねじまきカギュー
VOL.14
ATSUSHI NAKAYAMA

第百三十三話 シンプル


カモ先生

ありがとう
おれ
己…
迷ってたんだな
はじめて
生まれた
黒い感情が
カモキュンの初恋の人等のよ
拳を鈍らせた
いつのまにか
心が
ばらばらになってた
この
「嫉妬」をどうやって
打破すればいいか
わからなくて
パニックになった…
でもそれ自体が
間違いだった

こいつも
敵じゃなかった
先生が
嫉妬がある
今の己のほうが
好きだって
言ってくれたとき
己…楽になれた
また一つになれた
不思議だ
なんだか
前以上に
団結できた
気がする
己もっと
シンプルになるよ
決めたんだ
己は

好きな人の好きな人も護る

カギューちゃん…

ニコリ

ハッ

サッ

何をしてる
何をしてるんだ僕は

いつもなら
このタイミングで
くるものとばかり

ああー…ごめんよ
カギューちゃん
いつまでも子供扱いして…

器が大きくなったことでカギューちゃんの中に生まれたもの…

そうだ

これは…余裕だ!!

カギューちゃん…

君はまた強靭(つよ)くなったんだね…!!!

先生…
もじ…
やっぱりハグしていいっ!?
うぐふッ…!?
ギャ
強靭いッ…!
強靭いよ カギューちゃん…!!
パキ
カモ先生! 好き! 好き!
なぜ二千恵が彼らにそこまで傾倒するのか
それを知るために カギューの心の中に 入ったが…

予想以上の収穫だった

影の強さが光の細部を形作るのと同様

嫉妬が強くなったことで愛の深さが増した

カモとカギュー…

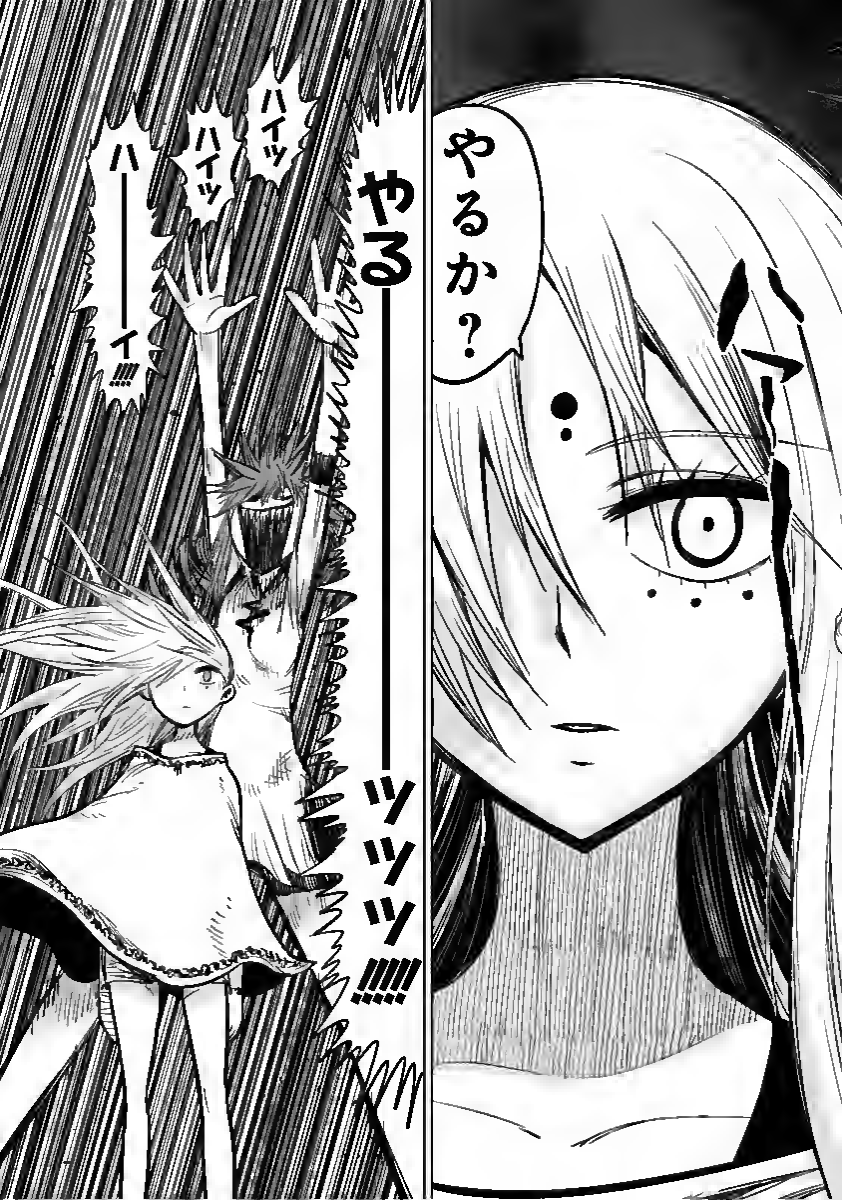
彼ら一人一人では二千恵を殺すほどの力をもたない…だが

二人揃ったときが危うい

このままだと二千恵が人間に堕ちてしまう

二千恵は愛を知ってはならない
(あの人)
こい
約束通り
風蘭に会わせてやろう
!
風蘭先生…!!!
ドクン…

せっかくの再会だ
まずはカモと二千恵の令嬢だけで対面させてやろう
カギューお前はここで待て
先に包帯を取り替えよう
……わかった
じゃあ


やるか？
やる――ッッッ!!!!!
ハイッ
ハイッ
ハ――イ!!!!

ドォン
ドン
!
すまない
さっきは

心が整わないまま
拳を抜いてしまった
一度ブチ壊した
玩具が
より楽しそうになって
返ってきたとき
あん時
殺さんで
えかった
ワワ
ワワ
今こそ
本当の螺旋巻拳を
見せる
まっこと
えかったにゃあ
我慢できた
私を褒めて
やりたいにゃあ
拳士として
万死級の無礼だ

ええからはよ見せッ

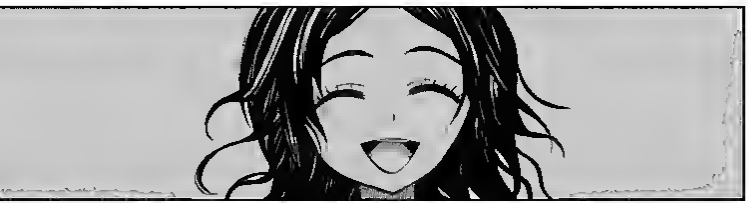
ヤメテ

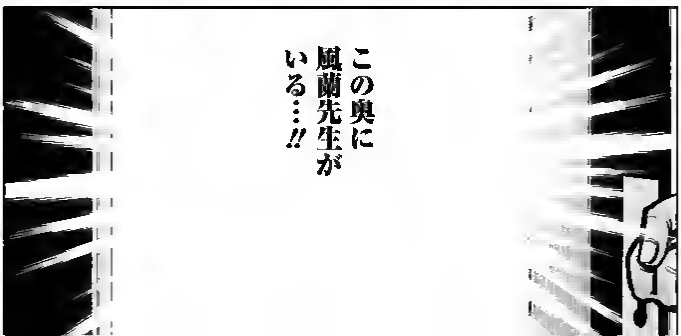
ガサガサガサ
バ
クイ
クイ

さあ
闘ろう
殺ろう

ガガリは
この実験島の
最高傑作だ
カキュ―を殺せ

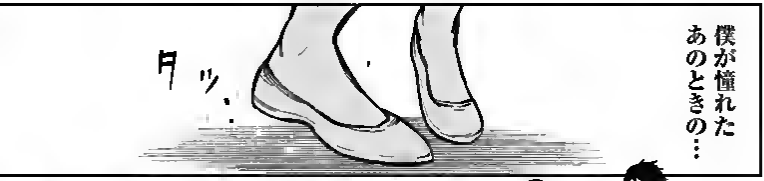
第百三十四話 再会

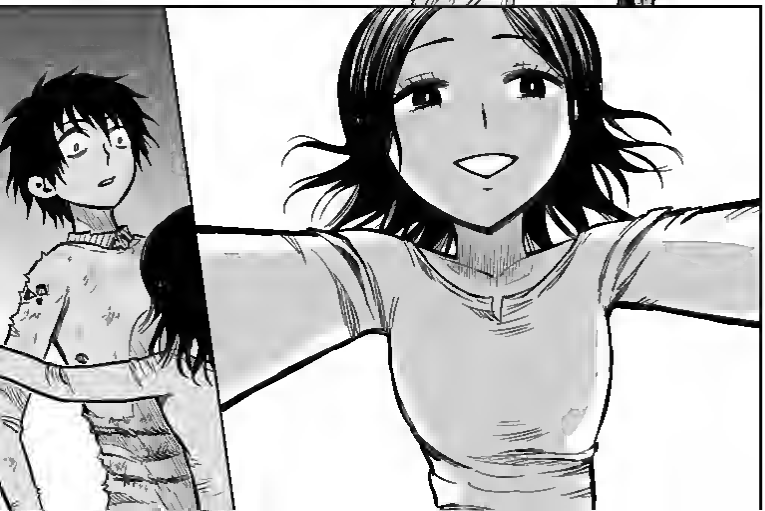




風蘭先生…っ!!!

変わってない……!!
先生は…
あのときの
先生のまま…

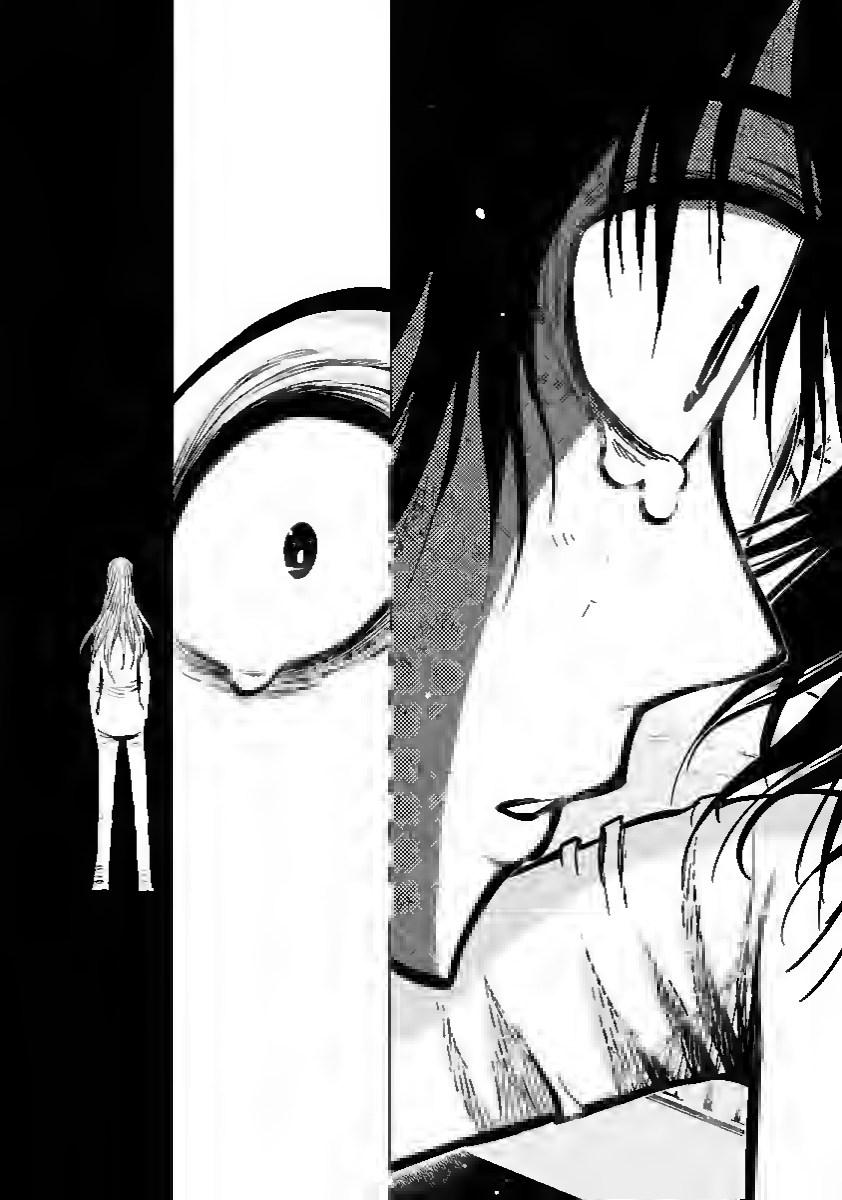

僕が憧れた
あのときの…
タッ、

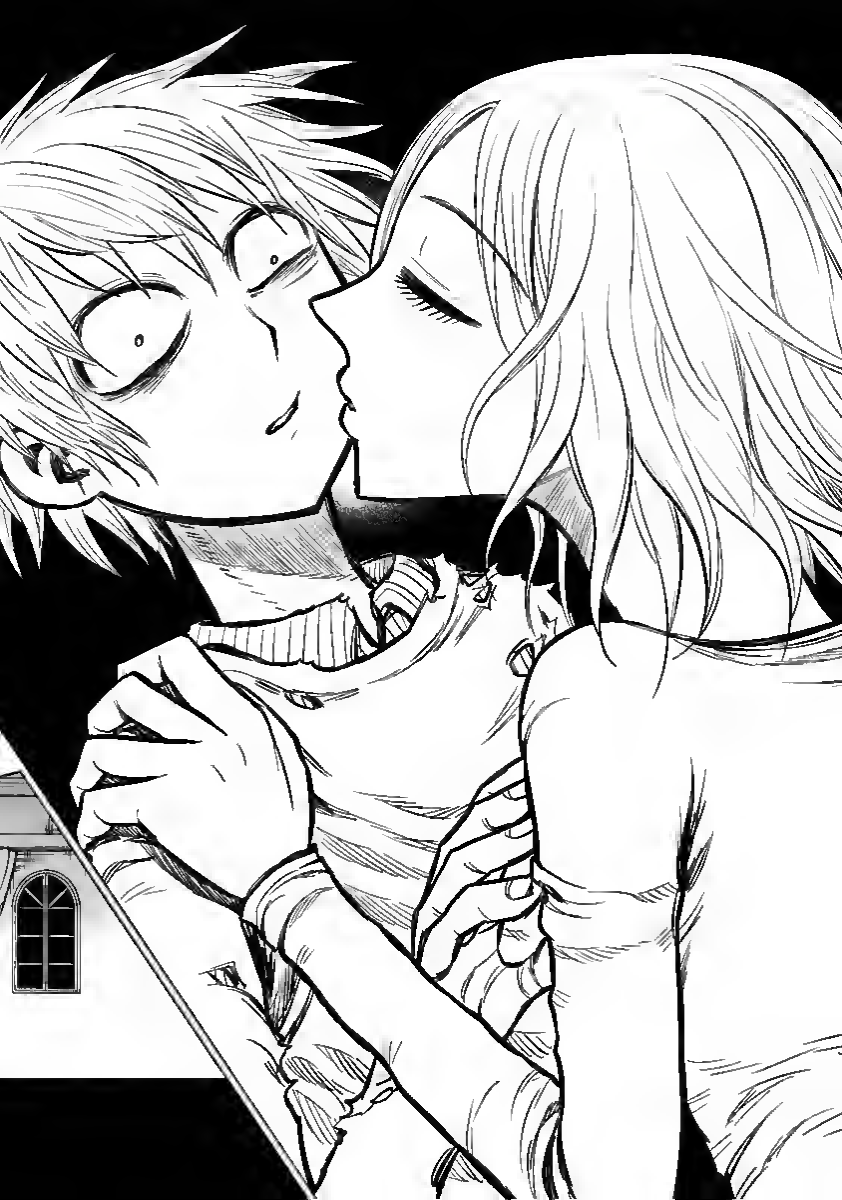


おかえり

ふらんせんせい…
ぼく…
あなたのおかげで
せんせいに!!

理人さん





聞いて
理人さん
今日また
学校で
あの子がね
ふふふふ
あっ
いけない
私ったら…
ごめんなさい
お腹空いてるのよね？
ご飯できてるの
はい
あなたの好きな
お野菜たっぷりの
ペペロンチーノ

小島風蘭は18年前から
正気ではない
あっつけても熱いから
誰がこの部屋を
尋ねても同じ対応
同じ言葉を発するだけ
そんないいのよ私こそいつもありがとう

ドチャッ

その子
衿沙を
出産して以来
彼女は18年間ずっと
同じ日を繰り返している
美味しい？

そう？よかったあ
彼女は
最も幸せだった
記憶の中に
生きているのだという

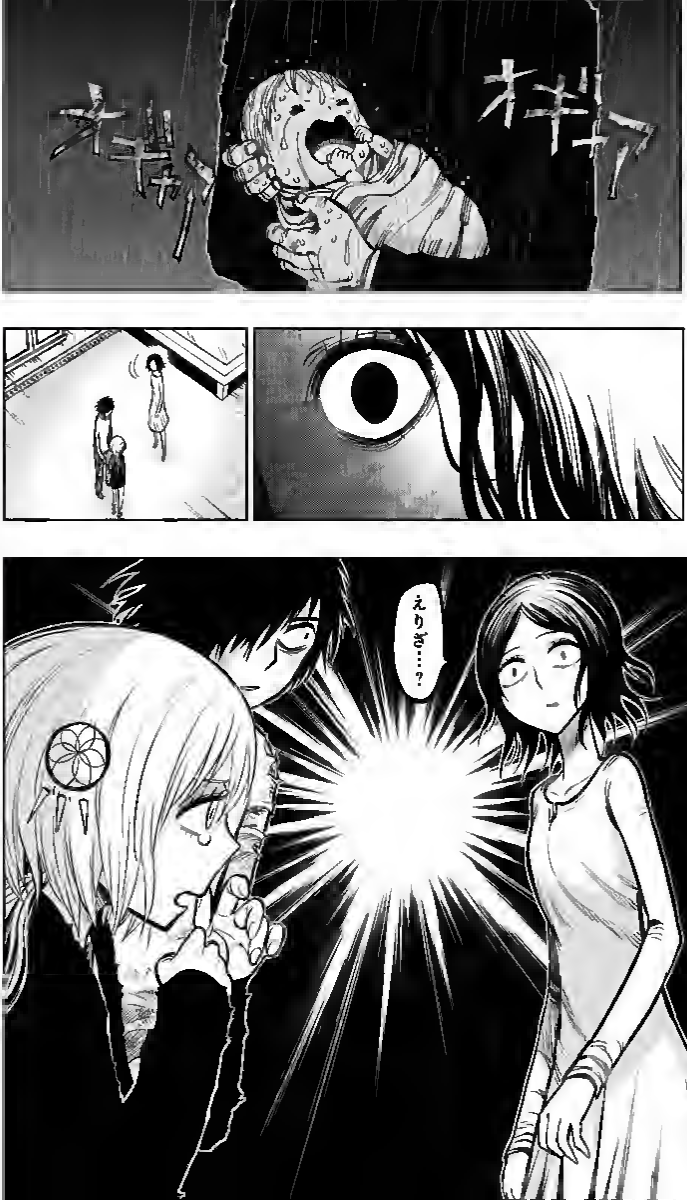
ム…

医療事故と
知らされたが
もしかしたら
その事故もあいつが
引き起こしたのかも
しれない
ムムム
ムムム
ムムム

二十恵
にじゅえ

うわぁぁん
わぁぁん
パパ怖いよぉ!!
怒らないでぇ!!
パパぁ!!
やだよぉ!!
わぁぁん
ボク
いい子に
するからぁ!!
わぁぁん
わぁぁん
玲沙ちゃん
泣かないで

ここで
教え子を放って
どうする
君の所為じゃないよ
ひっ
ひっ
先生の前で
先生らしくできず
どうする
こぼすな
この殺意
一滴残らず
二千恵のために
ドクン…
わぁぁぁん
わぁぁぁん


ギリギリ
ギリギリ
えりぎ…？

第百三十五話 脱出

……？
……
……
そう…
いいなまえね
えりざ
えりざ
えりざ
えりざ
えりざ
ぬっ
待っ…
風鳴先生ッ…
手出しちゃ
危…

ねんねこ
ねんねこ
トクン…
ねんねこよ
トクン…
トクン…
トクン…
……ッ
すう
すう
すう

ああ
そうか
二人の間に
思い出はなくても
脈拍が
呼吸が
所作が
血が
告げているんだ
ねんねこ
ねんねこ
私たちは
親子なのだと
風蘭先生
僕の言葉が
届いたら
答えてください
必ず
連れて帰ってくるよ

あなたのお嬢さんが二人家であなたの帰りを待ってます
あなたは子供にあいたいですか？
……
こども…
すぅ
すぅ

あいたい…！
この島から出ましょう！

為らぬ

奥方が外の刺激に反応を示したことは正直驚いた
そんなこと18年間ただの一度もなかったことだ
だがそれはそれ話は別だ

小島鳳蘭を島から出すな
これが二千恵の仰せだ

…どけ

……どうしても
出ると言うか

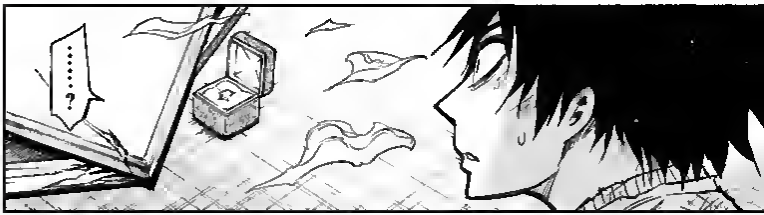
る…

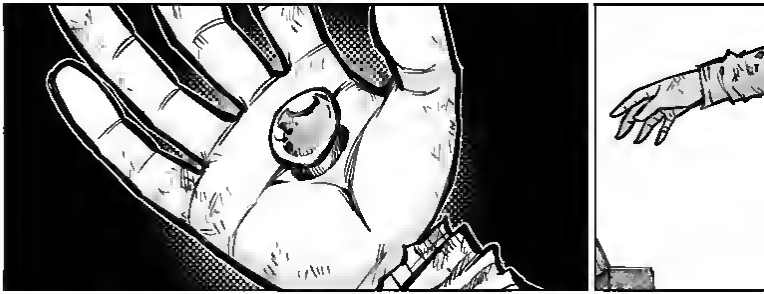
哀しい
るるる。
お前を破壊せねばならぬこと
「殺すな」とは言われている
が
五体満足か否かは不問
二度と逃亡の気が起きぬようその両の脚の腱
千切らせてもらう

その前に
曲者が二人
ガシン

ドドシャ
五十嵐さん!!
果心さんッ!!

…ッ
こいつ…!!
なんで自分らが
突入してくること
…ッ!?


……?



ゴン
衿沙ちゃん!!
パパに
近づくなァッ!!!

ギーロ
ひっ…!!
二千恵の令嬢
ガシッ
お前には殺しの許可が下りている

やめろォッ!!!
その子に手を出すな!!
離せッ!!
怜沙ちゃんを離せエ!!
パパァ…ッ

……
性懲りもなく邪魔者がもう一人くる
死体がもう一つ増えてしまうだけなのに…
哀しい

ナキ
ナキ
ナキ
ナキ

カモ
とっとと
衿沙(えりさ)ら連れて
港にいけ
こいつはあたいが
ふちのめす
邪魔だ
ボ
ボ
ボ
ボ
ボ
パラ
パラ
パラ
パラ
マブルゥさんッ!!!?

ゴゴゴ
マブルゥさん早く～～!!
ゴゴゴ
ザザザ…
ザザ…
ザワ
ザワ
ザワ

第百三十六話
哀しみのマルマン

マブルゥさん…
よー 衿沙
脚へシ折られた借りがあるがよ
テメェは親に裏切られた哀れなヤツだ
家族に裏切られたらあたいはもう生きてけねェ
想像もできねェ酷い世界だ
だから今回は特別だ衿沙
あたいがお前を護ってやるぜ
十兵衛ちゃんの次に

家族…
脆い…
そんな繋がり…
ミキ
ミキ
ボス

テメェ
家族の再会に
みみっちい水
差してんじゃねェよ
血のつながりなど

所詮運命などという
不安定な土台の上に立つ
紙クズの如き脆い関係
この力で掴み取った絆
これこそ人生において
真なるものだ
何言ってっか
全然わかんね
おい
はやく
いきやがれ
カモ
十兵衛のことは
任せろ
お前は
そいつらを無事
連れ出すことが優先だろ
ありがとう
マブルゥさん!!
船まで送り届けたら
また戻ってくる!!

カモキュン
やっほー！
森先生！
よかった
合流できて！
ザッ
あなたが
風間さんね
はじめまして
よろしくぅ
それで？
理事長のことは
理解った？
そう
よかった

ゆんね
ことごとく
避けられちまう
決して俊敏い
ワケじゃねェ
この図体だ
なのに
なぜだ？
まるで…
考えてることが
読まれてるみてェた
か？
！
私は
哀れな人間なり
生まれつき
心が視えてしまう

お前が次に
ハイでくるか
ローでくるか
下がるか
詰めるか
フェイントか
コンビネーションか
無意識に
あふれた思考すら
全て視える
視心（チャンリング）
これが私の超能力（ちから）
お前が勝つ可能性など
極めて無に等しいものと知れ
る
る
る
る

知るかッッッ

ドゴ

家族を
蔑ろにしやがった
あのクソジジイ
二千恵には万死でも
億死でも足りねェ
驚いた…
足りねェぜ
だから…
この島も大ッ嫌ェだ
…ッ!!
テメェら
皆ひっくるめて
むかつくんだよ
心を視ようが
視まいがこいつには
どの道通らん…

一切も合切も螺旋伏す強靭さ…!!!

……
まさか
こんなところで
使うことに
なるとは…

るっ
哀しい

哀しい
る
哀しい
る
哀しい
る
哀しい
る
哀しい
る
哀しい
る

胸が裂ける…
二千恵セキュリティグループ
哀しみのマルマン

ズ
哀しくて…
哀しくて…
死んでしまいそうだ…
ヂャリ
ギャ
螺旋
巻イッ
なら死ね

こんな…これ…
ヒュー
一体何が…ッ!?
ピョ
闘争とは思いの強靭いほうが勝つ
これこそがこの島の
二千恵と私の感情遮断実験の結晶なり

第百三十七話 人間・神・悪魔

はいはーい
あたしの誕生日
いつでしょう?
4月17日
俺が今日
食べたものは?
チキン・ビリヤニ
俺の
初恋の人の
名前は
わかるかの?
サラワティ
おおーっ
誰にも
言ったこと
ないのに!
ゲヘヘ
ほらね
ほらね
さあさ
当たったら
お代はこちら
だよぉ〜!!
ざけんなッ!!
こいつら
どうせサクラ
だろーが!!
こんなインチキで
金とろうってのか!?
あ!?
いい根性してんじゃ
ねェか!!
今度は
俺のこと
言い当ててみろや!
もし間違いやがったら
ブン殴ってやっぞッラァ!!

ズラ
まぁまぁ
今日のところは
このくらいで
カンベンしてやらァ…
ちょっ
旦那ァ
金ェ!!
……
まだ嘘だと
思ってる人が
いるから
ここにいる
全員の心視るよ
その奥さん
浮気してる
一生のトモダチ
なんて嘘
互い
殺したいほど憎い
借金が返せなくて
もう死にたい

うわあああッ!!!
ややめてくれェ!!!
もうこんなとこにいられねえ!!!
心が読まれちまうッ!!!
気持ち悪ッ

マルマンッ!!!
お前はいつまでたってもまともに金も稼げんのかッ
余計なことしやがって!!
この役立たずがッ!!!
誰のおかげで飯食えてると思ってんだ!!!
テメーは俺の言うことだけ聞いてりゃいいんだ!!!
今日のメシは抜きだ!!!
寝ろッ!!!

生まれたときから
心が視える
だから
気味悪がられて
親に捨てられた
人間は皆
汚い心をもっているのに
それを隠して生きている
本当の心が
ばれたくないから
良い人間と
思われたいから
嘘をついて
生きていろ
チュン
チュン
ゴロニャン
おいで
お前たちは
素直に生きてて
いいね
お前たちだけだ
私のトモダチ
お前たちと
おしゃべりできる
この時間だけが
辛い仕事を
忘れさせてくれる

ういぐ
まーだこんなところで
起きてやがったのかぁ
寝ろと言ったろぉ
また
ケダモノたちと
戯れやがってぐぐ…
ドロロン
ドロロン
散れッ
散れッ
ワン
ハチッ
ハチッ
ハチッ
ハニッ
なんか
やらんそッ!!!
やめてェーッ!!!
ドロロン
うるせェッ!!!
ッ!!
バシャッ

ア…
死ぬまでお前で稼いでやるぞお!!!
ガ
しっかり教育しとかんとなああ
マルマンッ!!!
ああ
ああ
女神様もしいるのならなぜ私にこんな眼を与えたの
もう視たくない
何も視たくない
犯
女
姦
内便

君が
心が視えるっていう女の子かい？
ななな
てめ…なっ
誰だッ!?
バッ
ドッ
こ…
この人…
え…

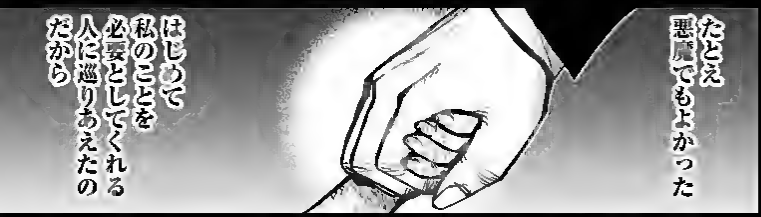
人間じゃない…!!
私の中に愛ってあるかな?
おいッ
何見てんだ
テメー!!
ワケわかんねーこと
言ってっとブッ
殺…

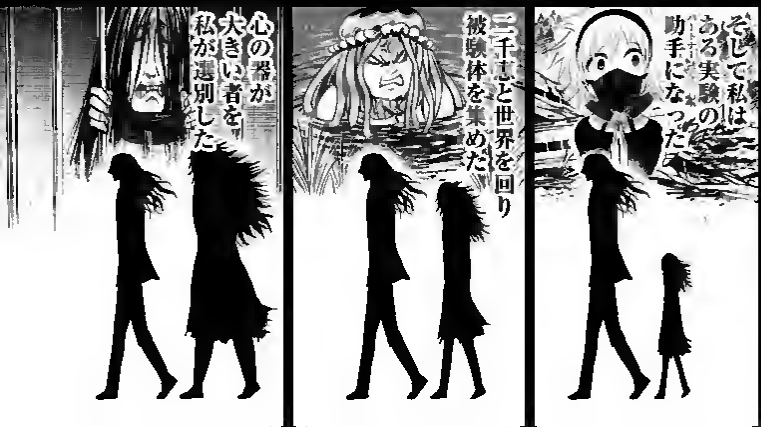
この子は私が買い取ろう
ガラン
わ
わ
わ
わ
金っ
金エエエエエッ!!!

マルマン
私と一緒にくるかい？
スゲエエエエ

君の個性が欲しいんだ
……ッ
神か
悪魔か

はい
そんなこと
どうでもいい


たとえ
悪魔でもよかった
はじめて
私のことを
必要としてくれる
人に巡りあえたの
だから


そして私は
ある実験の
助手（アシスタント）になった
二千弐と世界を回り
被験体を集めた
心の器が
大きい者を
私が選別した

…
感情遮断実験
それは…
一つの感情に
特化する実験
視覚を
遮ることで
聴覚が
研ぎ澄まされる
ように
様々な感情を遮断して
一つの感情に
集中させることで
爆発的な感情を得る

私たちは二千恵に作られた強化人間
この世界は思いが強い者ほど強靭い
カギューやカモがそうであるように
お前は強いおそらく相当にな
だが全力を出してしまった私には及ばないだろう
はじめて全力を出す
私自身も未知の領域

二千恵の邪魔お
をッ

襲来

絶対零度!!!!
ど？

あー…
テメェが強ェのは
よおく理解ったぜ
悲劇くせェ
身の上話も
ありがとよ
んじゃ
あたいからも
一個
教えといて
やろうか
テメェの敗因
それは
そんだけだ
相手が
悪過ぎた
はっ…
カッ
そっんな…
馬鹿ッ…!!
嘘…ぶ…ッ!!

テメェの敗けだ
超完敗だ
だが何も
恥じることねェぜ
あたいがもともと
無敵過ぎっからよ
何が可笑しい？
？
ふふ…

第百三十八話 最高傑作

今さらこんな言葉は
負け惜しみにしか
聞こえぬだろう
だが
真に成功したのは
ガガリ一人だけ
彼女だけが
二千恵と私の
最高傑作
現にお前の自慢の妹も
一度敗れている
へぇ～
ま
十兵衛ちゃん
ムラッ気あっからァ
んで？
その最高傑作ちゃんは
どこよ？
にゃはははッ!!
にゃはははッ!!

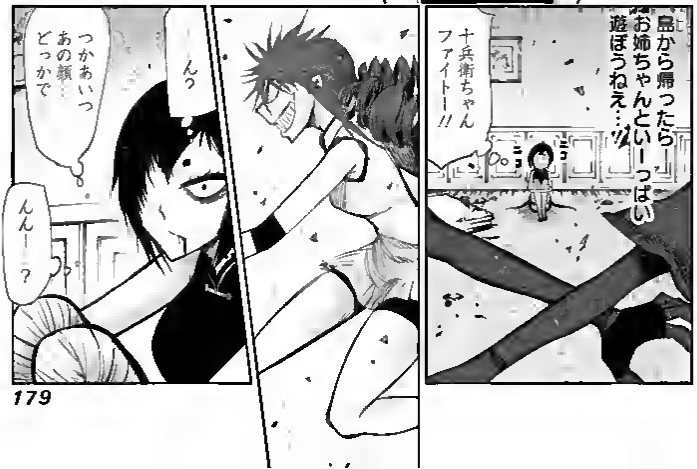
ドドド

ぶぅ
じゅっ
プ
プ
プ

全身全霊全肉全骨全血で
散打びてえええエ……ッ
ガ
ガッ
ガッ
ガッ

止まれえええええッ!!
……
フゥ
フゥ
フゥ
フゥ
十兵衛は…
しゅ…
ゲボッ
ゴプ
ケホッ

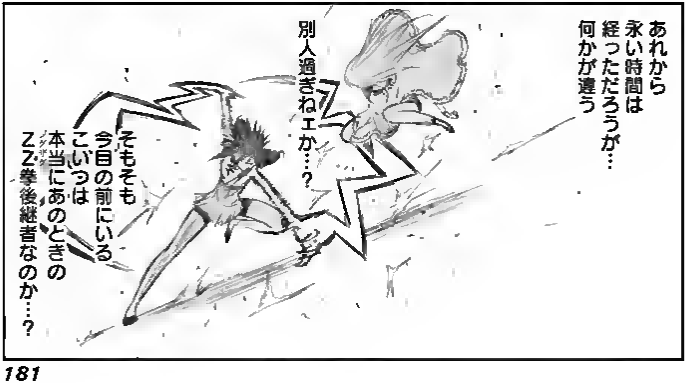
あたいの自慢の妹だぜ♡


島から帰ったらお姉ちゃんといーっぱい遊ぼうねえ…!!
十兵衛ちゃんファイトー!!
んぅ
つかあいつあの顔どっかで
んん…？

あいつだ
螺旋巻喰いの
ZZ拳(マイマイカブリ シングザング)!

螺旋巻拳の考えに反し
分離した亜流の殺人拳
その現在の正統後継者
名前がそう…たしか
ガガリだったな

だが
あんなやつだったか？


あれから
永い時間は
経っただろうが…
何かが違う
別人過ぎねェか…？
そもそも
今目の前にいる
こいつは
本当にあのときの
ZZ拳後継者なのか…？

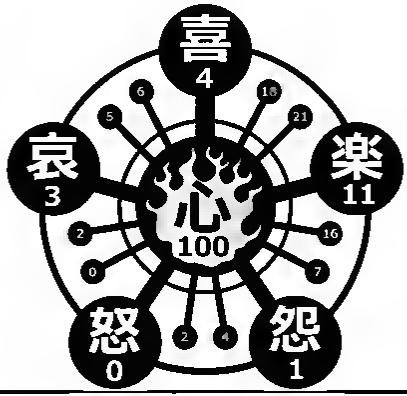
二千恵と私の施した技術によって
ガガリのZZ(ブザク)拳は完成した

間引いたのだ

テメェら…
あいつに何を…

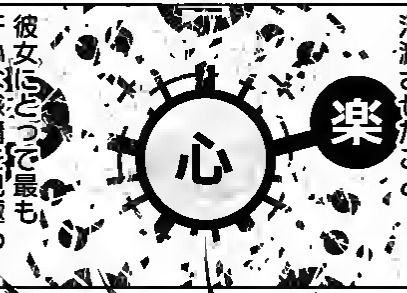
人間の心が100あったとする

心エネルギーは
個性やそのときの状況によって
様々な感情に振り分けられる



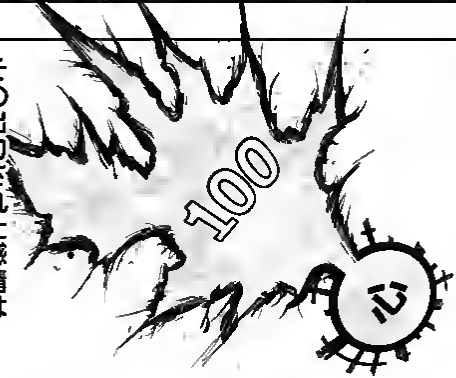
私たちが行ったのは
ガガリにとって
不要な感情を
消滅させたこと

彼女にとって最も
肝心な感情を見極め
それ以外に
心エネルギーが
流れ出さぬようにした



一つの感情に
100の心エネルギーが
流れ出す

その出力された感情は
通常の2倍・3倍もの
爆発力をもつのだ



思いを束ねるほうが
人は強いのだ

ガッ

対してカギューは
カモに「嫉妬」という
新しい感情を与えられたことで
心エネルギーの乱れが増えた

もともと
喜怒哀楽怨だけでも
多いというのに

新しい感情など
余計に心が
バラバラになるだけだ

見たところ
カギュー・ガガリ間に
肉体的な差はほぼ皆無

100の心エネルギーを如何に
巧く振り分けるかが
勝敗を決める

更に
言うなら

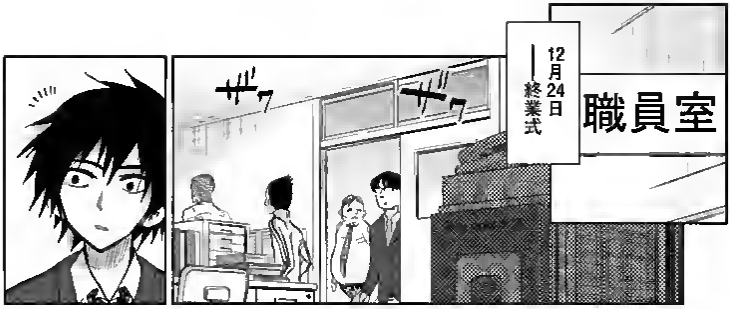
「愛」は全ての感情に
迷いを生む
カモへの愛を
原動力にするカギューが
ガガリに決して勝てない
最大の所以はそこにある
愛は
人を弱くする

カモに心かき乱され
不純物の生まれてしまった
カギュー
二千恵に心研ぎ澄まされ
純度の極致をむかえた
ガガリ
もはや
結果は
歴然
そう
言わば
これは

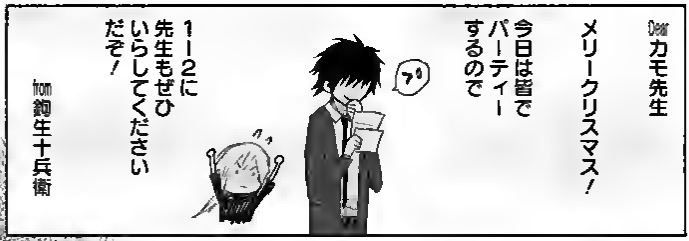
作戦開始

カギュウウウー!!!
まあだ死ぬるなァァッ!!!
もっともっと遊ぼうじぇえええッ!!!
二千恵セキュリティグループ
楽しみのガガリ

NEJIMAKI KAGYU
ねじまきカギュー
VOL.14
ATSUSHI NAKAYAMA



巻末描きおろしオマケ漫画



僕の一番嫌いな日だ
カーモくん
サンタさんにお願いするプレゼント決まりましたかあ～？

うー
トラーンフォーマーかー
ワンテンドーDSかー
うー
24日までに決めなきゃ何ももらえませんよ～♪
うー!!
GAME
X'mas
クリスマス

メロンゼリー!!!
プールいっぱい!!!
ゆめだぁ!!
クリスマス
ドン
キィーン

救急車アッ!!!!!
雪でスリップしたって…
まあ
ザワ
ザワ
両親が2人とも…
ザワ
まだ小さいのにねえ…

ゴトンゴトン
ヘンなトレイン!
ハイハイ
ニョートケーキ
チョーダイ
X'mas SALE
……
……
……あ

巻末描きおろしオマケ漫画

ジョカルベール

ジョカルベール

コツ
1−2
……
やっぱり…
行くのよそうか…？
あっ先生！
ガラッ
くる…
きてっ！

ナイス！
コンプリート！！

巻末描きおろしオマケ漫画

Cover design※五十嵐 卓也

YJC
DIGITAL
SHUEISHA YOUNG JUMP COMICS

ねじまきカギュー

14巻

中山敦支

© 中山敦支 2014, 2014

初版発行　2014年
デジタル版発行　2014年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。